

川崎の「やまがある」の一等三角点めぐり

「大和工営一等三角点の会」

突然の訪問者 ……

2011年9月9日（金）午前会社に会社のホームページを見たと言う川崎市の人から「一等三角点」の事で電話がきたそうだ。昼頃に会社に戻ると対応した常務からそんな話を聞かされた。そして「ここに電話してみて」とその「訪問者」の携帯電話番号を書いたメモが渡された。

とりあえず昼食を済ませて、メモに書かれた携帯電話番号に電話してみた。電話の相手は年配の女史の方で、用件は新庄地区にある一等三角点に行きたいとの事で、しかも明日の朝に新幹線で出発するとのこと。「基線東端」の一等三角点のマンホールの蓋は「私みたいな、お年寄りでも開けられますか」と聞いてくる。年配者とはいえかなりの強者（つわもの）との直感が脳裏を駆けめぐった。又その方に興味も湧いてきた。会社の「ホームページ」みて連絡を下さった事だし・・・と云うことで、突然の訪問者であったが、案内役（私と井上）を引き受ける事にした。女史は明日、東京 Am6:12 の新幹線に乗り、新庄には Am9:54 に到着する予定との事である。

正体は一等三角点巡りのマニアでした

9月9日（土）新庄駅西口の改札口で待ち合せをした。併設の「ゆめりあ」で30分程お話をしてから「一等三角点巡り」に出発する事とした。

女史の話では、あと2、3日で77歳になる事。学生時代は登山をしていたが、その後、疎遠になり、やっと落ち着いた67歳からまた登山を始めた事。北海道に登山に行った時に会った人の影響で「三角点」に目覚め、以来「一等三角点」をターゲットに全国を駆けめぐっている。と云うような話を伺った。「火打岳」には若い頃に登ったが「写真がないのが悔しくて・・・」

塩野原基線・西端から東端へ

一等三角点「與蔵峠」にも行きたい希望でしたが時間的に無理なので基線西端、東端、薬師山、金沢山の4点の三角点を廻る事にした。

最初は基線西端に向かった。現地での彼女は三角点の標石を中心に四方からカメラで「証拠写真」を撮っていた。私達も臨時の「モデル」となってそのカメラの中に収められた。



基線西端：写真構図を検討中?!



基線東端点：鋼鉄製の蓋はかなり重い。
女史「私には、開けるのは無理だったわね」

基線東端の蓋はかなり重い

基線西端から、マンホールと鋼鉄製の蓋に守られている基線東端に移動した。マンホールの蓋はかなり重く、2人がかりでその蓋を開けた。

その様子を見ていた女史は「やっぱり私には開けるのは無理だったわね。相模野の方でも蓋がしてある処があったけど。ここは無理だワ」とため息をついていた。

用意したバケツでマンホールに溜まった水を汲み出すと、蔽（おごそ）かに基線東端の標石が現れた。女史は腰をかがめ、マンホールの中の一等三角点の標石をカメラに収めた。

「測量みち」の両側は黄金色の稲穂が秋風に揺れていた。すぐそばにある「積算温度計」を紹介し、毎日の平均気温の積算が「900度」に達したら稲刈りの適期だと説明した。女史は驚きをもってその「温度計」に近づいて行った。



基線東端点を覗き込んでの写真撮影



積算温度計に近づき、「こんなものがあるんですかア。私、初めて見ました。」



赤い鳥居をくぐり、一等三角点「薬師山」へ。

急登な参道を軽やかに

金山町に向かい、国道13号の待避場に車を止めた。歩道を進み、赤い鳥居を潜り抜けて、薬師山への「登山」を開始した。標高差が約250mとは云え、最初からかなり急登である。

私はこの山登りで女史の「健脚」に驚いた。



「いつものペースでいい」と云うので先頭に立って登ったら、その後を軽快に登る女史。



小休止の間も少しの息も切らずに自らの体験をいろいろと話しかけて来てくれた。

一等三角点「薬師山」にたつ

約30分で薬師山の山頂に到着した。曇空で眺望とはいかなかったが、あまり汗を掻く事のなく急登な「山登り」にはむしろ好条件であった。

神社の裏手に廻った。女史は一等三角点薬師山の標石を例により四方からカメラに収めた。

曇空ながら、眼下に広がる金山町中心街を眺めることが出来た。しばしの「涼」を楽しんだ。

下山後、金山町の「谷口がっこそば」（小学校跡地）で遅い昼食を共にさせてもらった。



本日の最高峰一等三角点「薬師山」を撮影中

四つ目の一等三角点「金澤山」

女史は「一等三角点マニア」である事は確かである。しかし、通常は1日掛けて1点廻るのが普通だそうだが、今日はこれから4点目の一等三角点「金澤山」に向かう事となった。空模様も怪しくなってきた。新庄市体育館の脇から遊歩道を進み、途中から尾根筋を下り、約20分で「金澤山」の三角点に到着した。慌ただしい中、1日で4点の一等三角点を踏破した事になった。



薬師山から金山町中心街を眺める



遊歩道を歩き本日、4個目の一等三角点に向かう



中央の奥に一等三角点「金澤山」がある

無事、川崎へ帰還

今日は川崎の「やまがある」女史との「一等三角点ツアー」の日でした。現役時代は教員をされ多忙極まりない日々を過ごし、現在では「一等三角点」をターゲットに、日帰りで全国を駆け巡っているとある。その精神力と、現役に負けない健脚は何処から湧いてくるのだろう。私達に強烈な印象を残してくれた川崎の女史は新庄発の新幹線で川崎へと無事ご帰還されたのでした。（文責：齋藤）



電子基準点「山形新庄」にも立寄る